

# 地方創生SDGs国際フォーラム2020 報告

○SDGsを共通言語とした地方創生の推進にあたって、政府、地方公共団体及び民間団体等の様々なステークホルダーがこれまで行ってきた取組について、事例の共有や、今後の方向性についての考察を行うほか、SDGs達成への取組を通じて、地域における資金の還流や再投資を促し、「自律的好循環」を形成するため、それぞれのステークホルダーが持つ役割や課題等について議論を行い、国内外への展開につなげることを目指して、「地方創生SDGs国際フォーラム2020」を開催しました。

## 開催概要

- 日程 2020年1月10日(金)10:00-17:00 @日経ホール
- 主催 内閣府、地方創生SDGs官民連携プラットフォーム
- 参加数 約640人(申込数 約1,250人)

## プログラム

### ○主催者挨拶

北村 誠吾 氏 内閣府地方創生担当大臣  
(海堀 安喜 内閣府地方創生推進事務局長による代読)  
北橋 健治 氏 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会長・北九州市長

### ○基調講演

村上 周三 氏 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長  
牧野 百男 氏 鯖江市長

○セッションⅠ (コーディネーター：遠藤 健太郎 氏 (内閣府地方創生推進事務局参事官))  
「地方創生SDGsの一層の推進 ～第2期まち・ひと・しごと創生に向けて～」

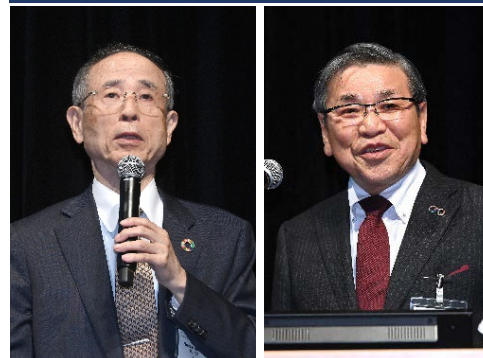
○セッションⅡ (コーディネーター：村上 周三 氏)  
「地方創生SDGs金融の推進 ～金融フレームワークによる自律的好循環の形成～」

○総括 (村上 周三 氏)

### ○ステージイベント

SDGs未来都市・環境未来都市・環境モデル都市による取組紹介

## 基調講演



## セッション1



## セッション2



## ステージイベント



## 本フォーラムを通じて以下のとおり総括が行われた

- 政府によるSDGs推進本部の活動やまち・ひと・しごと創生に関する施策の下で、「SDGs未来都市」をはじめとして自治体におけるSDGsの導入は着実に進展している。
- 自治体SDGsをさらに深化させるために、SDGsの取組を地域経済における自律的好循環の形成に結び付ける官民連携の活動が活発化している。
- 地方創生SDGsを幅広く実現するためには、地域の事業者や金融機関が国、自治体と連携して自律的好循環形成に向けたSDGs金融の取組を積極的に推進することが必要である。  
そのために、民間による優れたSDGsの取組を国、自治体が登録・認証等により見える化する制度の設定が求められている。
- 海外の自治体や民間セクターと連携して、日本における先導的な地方創生SDGsやSDGs金融の活動を国際的に展開することが求められている。